

## 4 多くの職員が仕事を失うことも

民営化も、市立の診療所(19床)化も、職員数は大きく減ります。看護師さんも、「阿寒で地域医療に携わりたい」と思って就職したのですから思いは複雑です。心配されるのは一年更新の介護職の方です。大半が雇い止めされる可能性があります。

来年4月以降も職場が存続するのかどうかも決まっていないうちに、身の振り方も決められず、不安が増すばかりです。雇用主の責任をしっかりと果し、市は「一人も路頭に迷わせない」ことを約束すべきです。

## 5 病院の改革案が生かされず

### 赤字拡大の原因のひとつ

医療スタッフから、何度も病院の改革案が出されてきましたが、取り上げられてはきまみせんでした。医療内容についての議論も全く不十分です。「医師数にあわせ病床を減らしても、新たな介護事業や訪問看護を増やせば、患者にも喜ばれるし、収入も増えるはず」との建設的提案が生かされてきませんでした。

やっとな今後の方向性などを検討する院内のプロジェクトチームがつけられましたが、十分な検討時間さえ保障されていません。

## 結論を急がず、慎重な検討を

- ① 町民の間でも、病院について様々な意見があります。説明会を開いて、住民の意見をしっかりと聞くべきです。
- ② 結論を急ぐべきではありません。地域の要望などをしっかりとつかんで、それに応えた医療機関はどうあるべきか、慎重に検討すべきです。
- ③ 職員からの提案も十分に検討、三慈会の提案は公開して、専門的な検証を行うべきです。
- ④ 看護師、技術職、介護職などの雇用をしっかりと守ることを明確にすべきです。
- ⑤ 将来の方向性は「市立病院の分院」として、市立病院がふさわしい責任を果すよう求めます。

## 職員の雇用確保の責任を果させます



共産党の  
市政懇談会

### なんとしても 市立の病院として残して、私たちも応援します

阿寒町公民館など、市内6箇所で共産党議員団主催の市政懇談会を開きました。阿寒町の会場では、「病院を守ってほしい」との声がたくさん寄せられました。

「阿寒病院のこれからを考える会」がつけられ、阿寒病院を民営化しないでほしいと行政セクターと交渉しています。「民営化したら万が一の時には、病院撤退もあるのではないか？」と聞くと、「そこが一番の困りごと」と認めたそうです。

「今いる二人の先生が気持ちよく診療できるようにしてください」「どうして三慈会なのか理解できません。大きな市立病院もあるのですから、そこがきちんと責任を持ってもらうことはできないのですか」・・・  
思いは私たちと一緒にです。

